

北海道熊研究会 会報 第 119 号 2023 年 4 月 7 日

【創刊 2013 年 1 月 25 日】

北海道熊研究会事務局 北海道野生動物研究所

代表 門崎 允昭

事務局長 Peter Nichols ピーターニコルス氏

幹事長 藤田 弘志 氏

Tel 011-892-1057

- ご意見ご連絡は、下記の email へお願い致します  
E-mail: [kadosaki@pop21.odn.ne.jp](mailto:kadosaki@pop21.odn.ne.jp)
- 会報の 1~118 号以前の号は Website に「北海道野生動物研究所」と入力し、  
ご覧下さい。
- 「北海道熊研究会」の Facebook と Twitter の編集は横山敬子氏が当たります  
Facebook : <https://www.facebook.com/HokkaidoBearResearchAssociation>
- 「北海道熊研究会」Hokkaido Bear Research Association の活動目的  
熊の実像について調査研究し、それを啓発する事です。

私(門崎允昭)の熊に関する基本姿勢は人的経済的被害を予防しつつ、極力熊は殺すべきでないと言う立場です。

理由 :

この大地は総ての生き物の共有物であり、生物間での食物連鎖の宿命と疾病原因生物以外については、この地球上に生を受けたものは生有る限りお互いの存在を容認しようと言う生物倫理(生物の一員として、他種生物に対して、人が為すべき正しき道に基づく理念による。

## <本号の話題>

①道東の標茶町と厚岸町で2019年から2022年にかけて、4ヶ年間に、牛61頭を襲い死傷させたと言う通称

# 「オソ」と言う雄罨について、 門崎允昭と稗田一俊さんとの共著で報告します。

下記の図は2022年7月17日の「北海道新聞」第1面に掲載された「通称オソと言う罨」による牛の被害が発生した3箇所的位置図を元に、改変作成した。



加害罨を「オソ」と呼称する由来は、  
この罨に依る最初の被害が、標茶町

管内の「オツベツ（地名）で生じた事に依る。「オツベツ」は川の呼称で、ベツはアイヌ語で、中小河川の意味だが、「オツ」の意味は不明である。

道庁の「ヒグマ対策室主幹の武田忠義氏によると、オソの正確な手・足部の**最大横幅は16cm**であると言う。因みに罽熊の成獣の手・足部の最大横幅は、15～18cmである。しかし、極めて希に横幅が20cmのものも居る。

「罽の成獣とは性成熟した個体を言い、満3歳ないし4歳以上を言う」。

## < 標茶町の牛飼育と罽対策の実態 >

2020年12月16日道新26面によると

①標茶町には 2020年時点で、乳牛と肉牛合わせて約6万5千頭が居て、②毎年5月～11月の間、2歳以下の若牛約5千頭

を柵や鉄条網で囲んだ地所に放牧して  
いると言うが。

③しかし、問題なのは、放牧場内に熊  
が入って来て、牛を襲って居ると言う事  
実である。

と言う事は、柵が不完全だと言う事  
である。事業の多くは、国策で行ったので  
あり、当初から、「釧路湿原から根釧原野」に  
かけて広がる広大な地所は自然地で、一大熊の  
生息地で在る事は分かって居たのであり、放牧  
場や農地等を造成した場合、その周囲を、有刺  
鉄線柵で囲わなければ、熊が侵入して、被害を  
もたらす事は分かって居たのに、それを為さな  
かった事に依って生じた人災である。

今からでも、公費で有刺鉄線柵を設置すべき  
であると言うのが、我々の提言である。

付言するが、電気柵は保守管理上、漏

電防止をせねばならないし、単なる柵も  
熊の侵入は防げ無い故、不適である事を、  
強調しして置きたい。

## 再度言うが

この地域で、熊に依る被害を恒久的に予防する  
には、熊を殺す事では無く、  
有刺鉄線柵を設置する事である

熊はこの地所の先住者であり、被害の  
予防策を、講じつ、生存を認める  
べきである

「熊オソ」を、この今の残雪期に、見  
つけ出して、殺す事を、画策し行動し  
て居るが、前記理由から、殺すべきで  
ないと、声を大にして主張する」

この大地は人間だけの所有物で無い  
事を、心を静かに、今一度、思いかえ  
してほしい

ヒグマによる牛の被害状況（2023年7月14日現在）

	被害判明日	場所	被害頭数	内訳
2019年	7月16日		1	死亡1
	8月5日		8	死亡4、負傷2、不明2
	6日		4	死亡3、負傷1
	11日		5	負傷5
	15日	標茶町	1	死亡1
	19日		5	負傷5
	22日		1	死亡1
	26日		1	死亡1
	9月2日		1	負傷1
	18日		1	死亡1
2020年	7月7日		1	死亡1
	8月14日		1	死亡1
	9月3日	標茶町	1	死亡1
	9月11日		1	死亡1
	9月27日		1	死亡1
2021年	6月24日		3	死亡1、負傷2
	7月1日	標茶町	6	負傷6
	14日		1	負傷1
	16日	厚岸町	3	死亡3
	22日		1	死亡1
	30日	標茶町	2	負傷2
	8月5日		1	死亡1
	12日	厚岸町	4	死亡2、負傷2
	15日		1	死亡1
	9月10日	標茶町	2	負傷2
2022年	7月1日	標茶町	3	死亡2、負傷1
	11日		1	死亡1
		合計	61	死亡29、負傷30、不明2

※データ引用：どうしん電子版

（了）